

>インタレストグループ 1

開催形式:ライブ配信

学生、研修医限定！若手と学べるプライマリ・ケアのコアのコア(委員会企画)

企画責任者	吉本 尚(筑波大学医学医療系 地域総合診療医学)
司 会	三浦 太郎(富山市まちなか診療所)
演 者	堀越 健(医療法人社団家族の森 多摩ファミリークリニック)
	村山 愛(横芝光町立東陽病院)
	富田 詩織(聖路加国際病院 一般内科)
	田中 いつみ(滋賀家庭医療学センター/弓削メディカルクリニック)
	杉谷 真季(医療法人社団プラタナス 桜新町アーバンクリニック)

[開催の目的]

学術集会にいらっしゃる学生・研修医は毎年 150 名程度いらっしゃいます。夏セミスタッフで家庭医療学に燃えている人、なんとなく大学からつれてこられた人など、さまざまなきっかけで参加されています。そんな皆様を対象に家庭医療学の基本を楽しく学びつつ、将来像を想像できるような企画を行います。

[企画概要]

演者の進路選択の軌跡を共有しつつ、患者中心の医療・家族志向型ケア・地域志向形ケアの基本を症例をもとにクイズ形式を取り入れつつレクチャーいたします。また、学術大会以外での学会主催の学生・研修医向け企画についての紹介を行います。



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association
日本プライマリ・ケア連合学会
学術大会
プライマリ・ケア×ダイバシティ
～多様性を受け入れ活かすケア～

会期 ライブ配信 2021年5月21日(金)～23日(日)
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)～7月21日(水)
会場 オンライン開催
大場 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>

>インタレストグループ 2

開催形式:ライブ配信

<若手医師部門 指導医力ベースアップ企画シリーズ:FDGs>

ここから始めよう! 指導医サバイバル術:Feeling good about not knowing everything
(公募企画)

企画責任者	櫻井 広子(済生会岩泉病院・医局につぼん)
講師	小嶋 一(手稲溪仁会病院 病院総合診療・家庭医療科)
	山田 康介(北海道家庭医療学センター(更別村国民健康保険診療所))
	藤谷 直明(よつばファミリークリニック)
	豊田 喜弘(喜多方市地域・家庭医療センター / 福島県立医科大学医学部 地域・家庭医療学講座)
	黒木 史仁(北海道家庭医療学センター(まどかファミリークリニック))
	岩浪 悟(東京都立多摩総合医療センター 救急・総合診療センター)
	村山 愛(横芝光町立東陽病院)

[開催の目的]

良い指導医になるための指導を受けられない/受ける機会がない・・・そんな皆さん! 若手医師部門メンバーと一緒に、スキルアップしてみませんか?

若手医師部門では、「指導医力ベースアップスキル企画/Faculty Development Gates(FDGs)」として、オンラインでの教育や管理にまつわるスキルの底上げを目指した連続企画を行なっています。今回は連続企画の第二弾となります。1回目に参加した方はもちろん、参加してない方でも大歓迎です!

[企画概要]

今回のテーマは「教育(指導・振り返りのスキル)」です。

指導医だって知らないことはある。それでも問題解決しないといけない。5マイクロスキルや教育理論などを中心に具体的な方法論を説明します。苦手な「指導」を乗り越えるために役に立つセッションです。

テーマについて深く学びたい方には、インタレストグループ終了後にオンラインでのディスカッション機会も提供させていただく予定です。

スキルアップに悩む、はぐれ指導医のみなさまお気軽にご参加ください!



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association
日本プライマリ・ケア連合学会
学術大会
プライマリ・ケア×ダイバシティ
～多様性を受け入れ活かすケア～

会期 ライブ配信 2021年5月21日(金)～23日(日)
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)～7月21日(水)
会場 オンライン開催
大場 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>

>インタレストグループ 3

開催形式:ライブ配信

専攻医部会企画 ぼっちでも総合診療専門研修を乗り越える！(公募企画)

企画責任者 植本 真由(高松平和病院)

司 会 植本 真由(高松平和病院)

運 営 木安 貴大

ファシリテーター・運営

高橋 琴乃(秋田大学 総合診療・検査診断学講座)

本多 さやか

豊岡 達志(藤田医科大学 総合診療プログラム)

西水 翔子(宮崎医院/大分大学医学部 総合診療・総合内科学講座)

ファシリテーター・講師

渡部 健(秋田大学大学院医学系研究科 総合診療・検査診断学講座/
秋田大学医学部附属病院 総合診療医センター)

[開催の目的]

「ぼっち専攻医」や小規模プログラム専攻医の研修の悩みや困難を共有し、学習方法や振り返りの持ち方などの具体的解決方法を提案する。

[企画概要]

専攻医部会ネットワーク事業では、孤立しがちな「ぼっち専攻医」や小規模プログラム専攻医の学びの場として web 講演会を開催しています。また、学術大会や夏期セミナーで専攻医同士の繋がりが作れるような交流会を企画しています。

特に一人や小規模プログラム専攻医にとって、誰の支援もなくポートフォリオを作成することや、振り返りや総合診療のコアを学ぶ機会を得ることは難しく、研修を困難と感じることもあります。そこで、暗中模索の中研修している専攻医の交流・意見交換の場を提供し、研修の悩みや困難を共有し、それに対する具体的な解決方法を情報交換できればと考えています。

一人専攻医でも研修を修了した、または現役の専攻医の意見も交えて、解決方法を一緒に考えていきます。総合診療研修に不安のある小規模プログラムの専攻医や指導医の先生方も是非ご参加ください！



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association
日本プライマリ・ケア連合学会
学術大会
プライマリ・ケア×ダイバシティ
～多様性を受けいれ活かすケア～

会期 ライブ配信 2021年5月21日(金)～23日(日)
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)～7月21日(水)
会場 オンライン開催
大場 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>

＜インタレストグループ 4

開催形式:ライブ配信

ケースレポートを書こう！ -accept されるために必要なこと- 2021 (公募企画)

企画責任者 見坂 恒明(兵庫県立丹波医療センター 地域医療教育センター
神戸大学大学院医学研究科 地域医療支援学部門)
司 会 立花 祐毅(沖縄県立八重山病院 総合診療科)
ファシリテーター 八幡 晋輔(製鉄記念広畑病院 内科)
小佐見 光樹(自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門)
水谷 直也(兵庫県立丹波医療センター総合内科/丹波市ミルネ診療所)
森 寛行(兵庫県立丹波医療センター総合内科/丹波市ミルネ診療所)

[開催の目的]

臨床研究に比し軽視されがちですが、医学研究においてケースレポートが果たす役割は大きく、臨床医学を切り拓いてきたのはケースレポートです。また、当学術集会で学会発表後、論文化される数が極めて少ないことが指摘されてます。臨床研究に比し軽視されがちですが、医学研究においてケースレポートが果たす役割は大きく、臨床医学を切り拓いてきたのはケースレポートです。そこで本企画では、ケースレポート作成の方法を指南します。

[企画概要]

臨床研究に比し、ケースレポートは accept されるのが難しく、paper writing の腕の見せ所で、書き方の原則を知る必要があります。疾患頻度が「稀」なだけでは、論文化できません。企画者らのグループは、Pubmed 収載誌に多くのケースレポートを掲載していますが、実際のレポートをもとに、どのようにレポートの構成を考えて、accept されたのかを提示します。また、いくつかの症例を提示し、どのような構成にすれば、accept される可能性が高くなるのかを、グループディスカッションします。「オールインワン 経験症例を学会・論文発表する Tips」を初めとした関連書籍、雑誌連載等を行い活動を行っていますが、リメイクした 2021 年 Ver です。



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association
日本プライマリ・ケア連合学会
学術大会
プライマリ・ケア×ダイバシティ
～多様性を受け入れ活かすケア～

会期 ライブ配信 2021年5月21日(金)～23日(日)
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)～7月21日(水)
会場 オンライン開催
大会長 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>

＜インタレストグループ 5

開催形式：ライブ配信

医療現場に潜むジェンダー・バイアスについて考えてみませんか？ (公募企画)

企画責任者 松井 智子(浜松医科大学地域家庭医療学講座)
ファシリテーター 三浦 弓佳(御前崎市家庭医療センター しろわクリニック)

[開催の目的]

診療科の偏在や医師の地域偏在を背景に、医師のキャリア継続を支援することは喫緊の課題ですが、働き方や人材のダイバシティを尊重する文化・環境をふまえた対策は十分とは言えません。医療現場に潜むジェンダー・バイアスがキャリア形成に影響を与えていることは国内外の先行研究で示され、ジェンダー・バイアスはダイバシティを阻む要因の一つと言えます。本企画の目的は、普段に気づかず過ごしている医療現場に潜むジェンダー・バイアスについて皆さんと話すことをきっかけに、ジェンダー・バイアスが自分や周囲にどのような影響を与えているのかを考えることを目的としています。そして、今回の企画が医療現場でのジェンダー平等を導き、また働きかたや人材のダイバシティを尊重する文化をつくる一歩となればと考えています。

[企画概要]

ジェンダー・バイアスとは社会的性別に基づく偏見を指します。実は医療現場には様々なジェンダー・バイアスが潜んでいるといわれています。「女性医師もやりやすい科だよ」「うちの科は女医さんが少ないのでいろいろカバーできるから安心して」「本当に育休とるの？」などの医療現場で交わされる日常的な何気ない言葉も、例えば「女性は家庭と仕事を両立するもの」、「男性は家事や育児をしないもの」など性別による役割をイメージさせる暗黙のメッセージとなっている可能性があります。そしてそれらの見えない言葉の力は、知らないうちに医師・医療者のキャリア形成を固定化させ、それぞれの働き方の選択に制限をつけているかもしれません。

今回は参加者のみなさんと日常の医療現場に潜むジェンダー・バイアスについて話し合い、その影響についてともに考えていきたいと思っています。



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association
日本プライマリ・ケア連合学会
学術大会
プライマリ・ケア×ダイバシティ
～多様性を受け入れ活かすケア～

会期 ライブ配信 2021年5月21日(金)～23日(日)
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)～7月21日(水)
会場 オンライン開催
大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>

＜インタレストグループ 6

開催形式:ライブ配信

マイノリティとの向き合い方～実は陰性感情とのバトル?こんな時あなたはど
うしますか?～(公募企画)

企画責任者 田中 亜紀子(トータルファミリーケア北西医院
富土地域ケア総合診療センター)

演 者 加藤 早里佳(河北訪問看護・リハビリステーション阿佐谷)
木村 映里
眞榮 和紘(ソフィアメディ株式会社)
中平 絵里(宇都宮協立診療所)

[開催の目的]

私たちの日常を振り返ることで、一人ひとりには背景があって、良くも悪くも特別ではない事を理解し、マイノリティとの向き合い方を考えることができる。

[企画概要]

性別、年齢、国籍、身体的特徴、生活環境、価値観や生き方など、多様性を受け入れる社会の実現を目指し、日本でも様々な取り組みがなされるようになりました。そんな多様性を考える上で欠かせないのが、「マイノリティ」と呼ばれる方々です。診療所、在宅、病院をはじめ、医療現場の仕事の中で、その存在をどれくらい意識できているのでしょうか?そもそもマイノリティとはどういった存在なのでしょう?マイノリティは、ただ困っているだけの存在でもなければ、助けを求めているだけの存在でもありません。例えば医療従事者として働く中で、患者に怒鳴り散らされ自分自身が不快な思いをした時に、そこにマイノリティの背景があったら、どう考え、対処しますか?自分の価値観や属性だけで判断し、対応してしまっていないのでしょうか?今回は事例を通しながら、マイノリティとの向き合い方を一緒に考えていきたいと思います。



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association
日本プライマリ・ケア連合学会
学術大会
プライマリ・ケア×ダイバシティ
～多様性を受けいれ活かすケア～

会期 ライブ配信 2021年5月21日(金)～23日(日)
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)～7月21日(水)
会場 オンライン開催
大場 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>

＜インタレストグループ 7＞

開催形式:ライブ配信

あなたのアピールポイントはどこでしょう？

～多様な働き方と多業種連携によって生まれる関係性を考える(委員会企画)

企画責任者 南郷 栄秀(社会福祉法人聖母会 聖母病院 総合診療科)
座長・演者・ファシリテーター

南郷 栄秀(社会福祉法人聖母会 聖母病院 総合診療科)
演者・ファシリテーター

大生 定義(新生病院)

向原 圭(久留米大学医療センター 総合診療科)

五十嵐 俊(横浜市立市民病院 感染管理室)

中島 美紀(キムラ薬局)

[開催の目的]

近年、医療専門職が診療以外の社会活動を行ったり、起業したりすることは珍しくなくなりました。地域や社会というマクロな視点を持ちつつ、製薬企業や検査会社、介護関連企業、教育産業、メディアなどとコラボレーションすることは、医療という枠組みを超え、社会を発展させる原動力になり得ます。

一方、そのようなコラボレーションによって生じるあらゆる利害関係は、しばしば患者や市民へ影響を及ぼします。医師が製薬企業から受ける利益供与をはじめ、医療専門職の仕事には数多くの利益相反が日常的に存在しています。そして、潜在的に影響を及ぼしうる利害関係は、経済的なものに限らず開示する必要があります。利益相反が複雑化している現在では、学会発表や論文投稿の際の利益相反の開示の在り方も変化しています。

本セッションでは、利益相反に対する基本的な考え方を整理した上で、今後の利益相反の開示の方法について、みなさんと一緒に議論したいと思います。

[企画概要]

利益相反とはどういうものか、どのような問題があるのかを整理して共有した上で、仕事をする際や情報発信をする上で自分をアピールするポイントが利益相反に該当するのか、利益相反と利益誘導の違いを踏まえて、適切な開示の方法について考えます。



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association
日本プライマリ・ケア連合学会
学術大会
プライマリ・ケア×ダイバシティ
～多様性を受け入れ活かすケア～

会期 ライブ配信 2021年5月21日(金)～23日(日)
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)～7月21日(水)
会場 オンライン開催
大場 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>

>インタレストグループ 8

開催形式:ライブ配信

多職種による誤嚥性肺炎包括的介入 JAPEP プロジェクトへの誘い (公募企画)

企画責任者	森川 暢(市立奈良病院)
司 会	森川 暢(市立奈良病院 総合診療科)
演者・進行	橋本 忠幸(橋本市民病院)
進 行	松本 真一(悠翔会在宅クリニック北千住)
演 者	大武 陽一(伊丹せいふう病院 内科)
	相田 万実子(亀田ファミリークリニック館山)
	吉松 由貴(麻生飯塚病院)
	宮上 泰樹(順天堂東京江東高齢者医療センター)
	井村 春樹(洛和会音羽病院)
	松本 朋弘(練馬光が丘病院 総合救急診療科総合診療部門)
	安藤 崇之(慶應義塾大学病院 総合診療教育センター)

[開催の目的]

日本プライマリ・ケア連合学会として、誤嚥性肺炎の多職種連携スキルアッププログラム Japan Aspiration pneumonia inter Professional team Educational Program (JAPEP)が始動しました。標準化された多職種での誤嚥性肺炎への介入方法に関する教育プログラムの開発および実施を目的としています。多職種連携を生かした誤嚥性肺炎診療に興味がある皆様とともに意見交換やディスカッションを行うためのインタレストグループです。日々の実践や学術的見地を皆様と共有することができればと考えています。

* JAPEP セミナーは、「2019 年度 GSK 医学教育助成」による事業です。これは、医学関係学会/医会が独立して企画・運営する医学教育事業を助成する事業であり、本学会の正副理事長会議の承認を得て実施されています。

[企画概要]

本インタレストグループでは JAPEP プロジェクトのコンピテンシーや目的、E-ラーニングシステムについて皆様を知っていただきたいと思えます。それを踏まえて医師だけでなく、学会に所属する多職種の方ともインタラクティブに誤嚥性肺炎の知見について議論させていただくことを考えています。



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association
日本プライマリ・ケア連合学会
学術大会
プライマリ・ケア×ダイバシティ
～多様性を受けいれ活かすケア～

会期 ライブ配信 2021年5月21日(金)～23日(日)
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)～7月21日(水)
会場 オンライン開催
大場 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>

>インタレストグループ 9

開催形式:ライブ配信

プライマリ・ケアでのポリファーマシーとの向き合い方(公募企画)

企画責任者	坂口 眞弓(みどり薬局)
座長	坂口 眞弓(みどり薬局)
講師	雨森 正記(弓削メディカルクリニック) 鈴木 富雄(大阪医科薬科大学病院 総合診療科) 矢吹 拓(栃木医療センター) 栗原 健(名古屋大学大学院 医療の質・患者安全学) 浜元 善仁(浦添総合病院 薬剤部)
ファシリテーター	押切 康子(御代の台薬局 品川二葉店) 宮原 洋(新八代駅前薬局)
総括	徳田 安春(群星沖縄臨床研修センター)

[開催の目的]

プライマリ・ケアでのポリファーマシーとの向き合い方について、実際の症例をもとにグループで話し合い、解決策を共有する

[企画概要]

日々の診察の中で自分の前にやって来る多剤併用の患者さん。『疾患の状態を考えると仕方がないよね』『前からこうだし、問題ないよね』。しかし多病である高齢者の体調は時として想像できないことが起こります。不適切で多すぎる薬は保険財政にやさしくありません。明らかに不適切である処方では当然のことですが、足し算処方から引き算することでその時のその方にあった適切な処方を考えてみませんか？ 多すぎる薬に安心しているのは患者さんだけでしょうか？ 医師としての自分に安心していませんか？ 薬剤師としてそのとおりに調剤していれば安心ですか？ おかしいよねと思いながら調剤していませんか？ 実際の症例をもとに一緒に検討し、学びを深めたいと思います。経験者からのアドバイスを共有しましょう！



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association
日本プライマリ・ケア連合学会
学術大会
プライマリ・ケア×ダイバシティ
～多様性を受け入れ活かすケア～

会期 ライブ配信 2021年5月21日(金)～23日(日)
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)～7月21日(水)
会場 オンライン開催
大場 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>